

剣道競技要項

期 日 平成29年6月24日(土)・25日(日)

会 場 岐阜メモリアルセンター武道館 剣道場
住所:502-0817 岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28
電話:058-233-8822

開始時刻 6月23日(金) 15時00分 監督者会議
6月24日(土) 9時00分 審判・監督者会議
9時30分 開会式
10時00分 試合
6月25日(日) 9時00分 試合

閉会式 競技終了後

競技規則 全日本剣道連盟試合規則、審判規則ならびに審判細則による。

注意事項

- (1) 選手は前垂に校名及び姓を明記した布製の名札をつけること。
- (2) 移動する「つば」及びテープで修理した竹刀の使用を禁じる。
- (3) 男子の竹刀は、4年生以上では長さ120cm以下、重さ510g以上とし、3年生以下では長さ117cm、重さ480g以上とする。いずれも先革の太さを26mm以上とする。
- (4) 女子の竹刀は、4年生以上では長さ120cm以下、重さ440g以上とし、3年生以下では長さ117cm、重さ420g以上とする。いずれも先革の太さを25mm以上とする。
- (5) 竹刀の先革の長さは50mm以上とする。
- (6) 大会中の怪我については、各校で対応すること。

I 全国高専大会予選

1 男子団体戦の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内

競技方法

- (1) 出場チームによるリーグ戦とする。
- (2) 各5名による勝者数法で試合時間は4分とする。
- (3) 試合は3本勝負とし、2本先取した者を勝ちとする。ただし、制限時間内に一方だけが1本を取ったときは、これを勝ちとする。制限時間内に勝負が決まらないときは、延長戦は2分1回だけとし、先に一本取った者を勝ちとする。さらに勝負の決しないときは引き分けとする。
- (4) 試合オーダー提出は各試合10分前とする。ただし、引き続き試合を行うチームは次の試合開始前でもよい。オーダーの提出のないときは前試合と同じオーダーで試合しなければならない。オーダー提出後変更は認めない。
- (5) チームの勝敗は勝者数の多いものを勝ちとする。勝者数同数の場合は取得本数の多い方を勝ちとする。取得本数も同数の場合は引き分けとする。
- (6) リーグ戦の順位の設定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点とし、点数の多いチームを上位とする。ただし、同点数の場合は、勝者数の多い方を、勝者数も同数の場合は取得本数の多い方を上位とする。これにより順位が決定しないときは、代表者戦を行う。代表者戦は1回4分1本勝負とし延長戦は時間を区切らず勝敗が決するまで行う。3チーム以上で代表者戦を行う場合は、代表者によるリーグ戦を行う。

表 彰 1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。

そ の 他 優勝校は第52回全国高等専門学校体育大会への出場権を得る。

2 男子個人戦の部

出場人員 監督1名、選手8名以内、計9名以内

競技方法

- (1) 試合はトーナメント戦、決勝リーグ戦とする。
- (2) 試合時間は4分とし、制限時間内に勝敗が決まらないときは時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
- (3) 準決勝者4名で1位、2位、3位、4位の決勝リーグ戦を行う。リーグ戦は延長2分(1回)とし、勝敗が決まらないときは引き分けとする。
- (4) その他は団体戦の部に準ずる。

表彰 1位、2位、3位に賞状を授与する。

その他

- (1) 1位、2位は、第52回全国高等専門学校体育大会(個人の部)への出場権を得る。
- (2) 出場選手が8名に満たない参加校は、欠場枠が特定のブロックに偏らないように欠場者の申込番号を分散させること。

II 男子団体戦の部(勝抜戦)

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手8名以内(試合出場5名)、計11名以内

競技方法

- (1) 出場チームによるリーグ戦とする。
- (2) 試合時間は4分とし、制限時間内に勝敗が決まらないときは引き分けとする。ただし、大将同士の場合は、引き分けはなく、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
- (3) 全国高専大会予選(団体戦の部、個人戦の部)に出場した選手は、原則として勝抜戦の出場を認めない。
- (4) リーグ戦の順位の設定は、勝ちを1点とし、点数の多いチームを上位とする。ただし、同点数の場合は、残者数の多い方を、残者数が同数の場合は取得本数の多い方を上位とする。
- (5) その他は団体戦の部(全国高専大会予選)に準ずる。

表彰 1位、2位に賞状を授与する。

III 剣道女子の部

1 女子団体戦の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内(試合出場3名)、計8名以内

競技方法

- (1) 出場チームによるリーグ戦またはトーナメント戦とする。
- (2) 各3名による勝者数法で試合時間は4分とし、勝敗が決まらないときは引き分けとする。
- (3) チームの勝敗は勝者数の多いものを勝ちとする。勝者数同数の場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。取得本数も同数の場合は引き分けとする。
- (4) リーグ戦の順位の設定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点とし、点数の多いチームを上位とする。ただし、同点数の場合は、勝者数の多い方を、勝者数も同数の場合は取得本数の多い方を上位とする。これにより順位が決定しないときは、代表者戦を行う。代表者戦は1回4分1本勝負とし延長戦は時間を区切らず勝敗が決するまで行う。3チーム以上で代表者戦を行う場合は、代表者によるリーグ戦を行う。
- (5) その他は、男子団体戦の部(全国高専大会予選)に準ずる。

表彰 1位に優勝杯、1位、2位に賞状を授与する。

その他 第52回全国高等専門学校体育大会への出場権を得るチームは剣道競技専門部が定める出場校数をもとに監督者会議により定める。

2 女子個人戦の部

出場人員 監督1名、選手5名、計6名以内

- (1) 試合はトーナメント戦とする。3位決定戦を行う。
- (2) 試合時間は4分とし、勝敗の決まらないときは時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

表彰 1位、2位、3位に賞状を授与する。

その他

- (1) 第52回全国高等専門学校体育大会(個人の部)への出場権を得る選手は剣道競技専門部が定める出場人数をもとに監督者会議により定める。
- (2) 前年度ベスト4までに入賞した選手は、シード選手として異なるブロックに割り当てる。